



# ビワ

常緑／中高木／木本植物／外来種



**科名** バラ科 (APGⅢ)

**特記** 生長：やや速い

外国産の果物が多いなか、ビワは国内に自生する果樹。関東以西の暖地に生育し、栽培が比較的簡単なため家庭で収穫できる。無農薬でつくれることも魅力の1つ。「ビワの葉茶」も楽しめる。花は、意外にも冬の寒空のなか開花するが、目立つこともなく見過ごされやすい。



花



花 (拡大)



幼果



実

## Memo

果樹は一般的に接ぎ木苗で育てることが多いが、ビワは実生からでも美味しい果実が収穫できる。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
花 期		■					(鑑賞には向かない)			■			
果 実						■							
紅 葉													
施 肥		■								■			
剪 定									■				

好みの環境				
日当り	陽	○	○	陰
土 壌	乾		○	湿
寒 さ	強		○	弱
暑 さ	強	○		弱
潮 風	強		○	弱

観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
							○

### ポイント

耐寒性はあるが、美味しい果実の収穫は千葉県沿岸以西の暖地が適する。冬期-3℃以下の低温になると結実しても落果しやすい。果実の収穫を目的にしなければ、丈夫で手間のかからない樹。

### 剪 定

収穫目的の場合は、10月頃に花房の上半分を摘み取り、4月頃に1房に3つほど果実を残し摘果する。袋かけをすれば理想的。芯止めすれば低い樹形で収穫できる。

### 病虫害

モモやリンゴ、ビワの幼果に、「モモチョッキリゾウムシ」が発生することがある。幼果に産卵し枝を切り落果させる。対策は早目の袋かけが効果的。また、熟した果実はカラスが狙うので注意。